

### 3.15.3 産業振興部門 情報バリアフリー推進室

室長 笠木繁樹 ほか2名

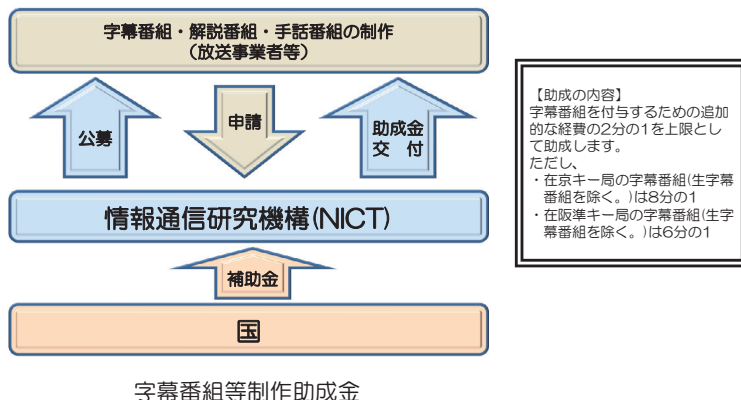
#### 情報弱者への支援（情報バリアフリーへの取組）

##### 【概要】

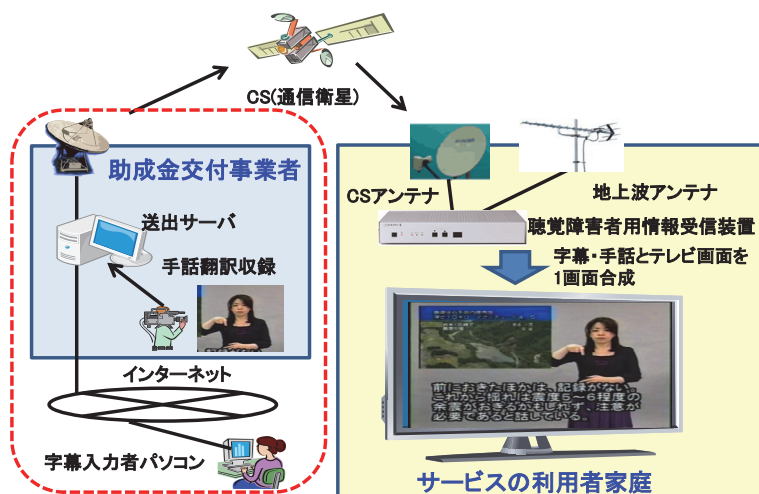
- ① 字幕・手話・解説番組制作の促進  
聴覚障害者がテレビ放送を視聴するための字幕や手話が付いた放送番組及び視覚障害者がテレビ放送を視聴するための解説が付いた放送番組の制作に係る経費の一部を助成している。
- ② 手話翻訳映像提供の促進  
放送番組に合成して表示される手話翻訳映像の制作に係る経費の一部を助成している。
- ③ チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進  
身体障害者の利便増進に資する波及性・有益性のある通信・放送サービスの開発・提供事業に対して、経費の一部を助成している。
- ④ 情報バリアフリー関係の情報提供  
身体障害者や高齢者を含む誰もが利用しやすい情報バリアフリーの実現に資するための情報を提供している。

##### 【平成 24 年度の成果】

- ① 字幕・手話・解説番組制作の促進（字幕番組等制作促進助成金）
  - ・平成 24 年度は、104 の放送局等の 54,109 本の字幕番組等に対して助成し、字幕放送番組等の放送時間数拡充に貢献した。



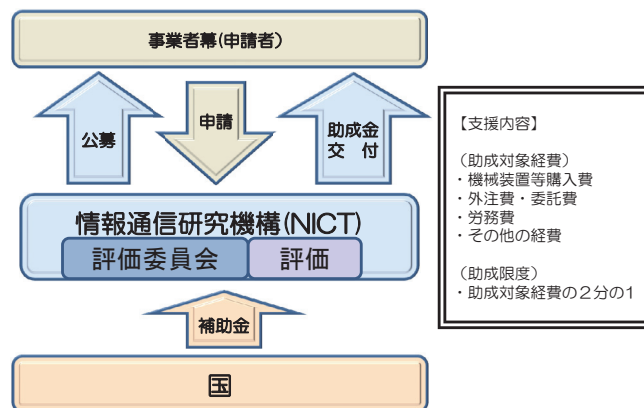
- ② 手話翻訳映像提供の促進
  - ・平成 24 年度は、障害者向けの手話番組の増加（183 番組の手話映像の制作・付与を支援）に貢献した。



③ チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

(チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金)

- 平成 24 年度は 10 件の応募があり、7 件の対象事業を助成した。
- 公募については、Web ページ等での周知のほか、総務省地方総合通信局と連携して全国で説明会を開催した。
- 評価・審査に際しては、事業者ヒアリングを取り入れるなどの取組を継続した。
- 助成事業者に対して、第 39 回国際福祉機器展 (HCR2012) において出展及び成果発表の場を提供し、身体障害者や社会福祉に携わる機関、団体等に事業成果を広く発表できる機会を提供した。



チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金

<平成 24 年度助成案件>

■ は新規。(事業者名は五十音順)

助成対象事業の名称	助成対象事業者名	所在地
モバイル型情報保障サービス (e-ミミ)	株式会社アイセック・ジャパン	沖縄県
吃音症状をもつ方のための吃音克服訓練支援 SaaS の開発および提供	株式会社アニモ	神奈川県
障害者用インターネット利用環境オーダーメイド&オンラインサポートサービス提供	イデア・フロント株式会社	東京都
聴覚障害者向けリアルタイム字幕配信役務の提供	NPO 法人シーエス障害者放送統一機構	大阪府
ユニバーサル社会を実現する電話対応クラウドサービスの開発・提供	株式会社バステララボ	石川県
聴覚障がい者の為の代理電話サービスと遠隔手話・文字通訳の役務提供	株式会社プラスヴォイス	宮城県
インターネットを利用した DVD 等の視聴覚障害者用字幕、手話、音声ガイドの提供	NPO 法人メディア・アクセス・サポートセンター	埼玉県

④ 情報バリアフリー関係の情報提供

- インターネット上に開設した Web ページ「情報バリアフリーのための情報提供サイト」において、身体障害者や高齢者などの Web アクセシビリティに配慮して、身体障害者や高齢者、その他関係者に役立つ情報を提供した。
- 平成 24 年度の年間アクセス数は、約 49 万件となった。
- 情報バリアフリー関係情報の提供についてアンケート調査を行い、9 割以上の回答者から肯定的評価を得た。

情報バリアフリーのための情報提供サイトへようこそ

情報バリアフリー社会とは、高齢者や障害のある方が情報通信を利用する上での障害(バリア)をなくし、全ての人が情報通信を利用できる社会を言います。身体障害のある方や高齢者のご自身、あるいはサービスや機器の開発・提供に携わる事業者の方々に、本サイトの情報を活用していただくよう期待しています。

[情報バリアフリーについての詳しい解説はこちら](#)



情報バリアフリーのための情報提供サイト